

ツリガチ!

東京湾のタイラバ

文◎高橋 剛

★横須賀・新安浦の長谷川丸に、笑い声が響く。
 雨が降り注ぐ東京湾の空は暗いけれど、
 船の雰囲気は明るい。
 ツリガチ取材班、タイラバの魔力に
 取り憑かれているのだ。
 ただ巻くだけのこの釣りには、
 奥深くて妙な面白さがある。
 静かな興奮に包まれながら、
 リールを巻き続けたあの日――。



とにかくタイラバを海の中に入れておいて、
 魚に見せることが最大のポイントかな。



★100グラムのTGピンピン
 スイッチの段差バリが2カ所
 にガッチリ掛かっていた



★ヨッシーはアタリがきてから
 食い方に応じて待ったり、早め
 に聞き合わせたりしている



▲初挑戦のタイラバで2キロのマダイをキャッチ

いのも確かである。
 7時15分に港を出ると、わずか
 20分ほどでポイントに到着し
 た。水深は40メートル前後。潮
 が効いているので、タイラバの
 ヘッドは100グラムが中心だ。
 すぐにツリガチ取材班若手の
 ホープ、トモキが「アタった!
 」と声を上げる。ヨッシーも「お
 れもアタった!」と続き、イチ
 ロウにもアタリが出た。
 が、だれにも掛からない。
 「食いが浅い」という船長の言
 葉が、総員の脳裏をよぎる。い
 やな予感を軽くブツ壊してくれ
 たのは、ツリガチ取材班と同じ
 右舷トモで釣りをしていたうら
 若き女性アングラーだった。
 「タイラバは初めて」という彼
 女はお父さんに連れられて長谷
 川丸に乗り、朝もハヨから冷た



▲当日はタイラバ用とTGピンピンスイッチ用のタックルを持ち込んだ

様ざまある釣法の中でも、タイラバはかなり独特だ。その最大の要因は、等速巻きにある。ひたすら、ただひたすら、同じ速さで巻く、巻く、巻く。何がなんでも一定速でリールを巻き続ける。それがタイラバだ。底から10メートル前後巻き上げたら、再び着底させる。そしてまた10メートルを一定速で巻き上げ、着底。一定速で巻き上げ、着底。延々これを続ける。誘いやアクションとは無縁。竿をシャクリ上げることもなく延々、一定速でリールを巻き続ける。やってみれば分かるが、かなりストイックである。同じ動作を続けているうちに心が浄化されていることに気付くだろう。さらにリールを巻き続けていると、やがては悟りの境地に到達する。心に移りゆく

い雨に打たれ、それでも真撃にタイラバを巻き、開始35分後に2キロのマダイを釣り上げたのである。
 ツリガチ取材班、色めき立つ。
 「これだね」
 「これだよ」
 「あるね」
 「あるよ」
 何が「これ」で何が「ある」のか不明だが、ツリガチ取材班は目くばせして静かにうなずく。
 これは、ある……。
 そして、実際、あった。45分ほど経過したところで、ヨッシーが「アタった、アタった、アタった!」と叫び、「つしやー!」と竿を曲げたのだ。だが直

あえてチャートを使って釣る。これもヨッシーの戦略どおりだ。
 左舷ミヨシで、マダイが上がった。根に差しかかり、そこに魚がいれば、それなりに反応はするようだ。
 左舷ミヨシの方は、オレンジのタイラバを使っていた。それを見てすかさず動いたのはトモキである。動いたとは、有り体に言えばマネをしたわけである。トモキはサッとオレンジのタイラバに替えると、すぐにツリガチ取材班にとってのファースト・マダイを釣ってみせた。
 「マネはガチで大事だよ」とヨッシーが言う。「マネこそは、乗合船のどい味。釣れる人に合わせての鉄則だよ」
 そしてついにヨッシーがタイラバでマダイを釣った。その直後に、ライターの高橋ハシゴ



▲ツリガチ取材の先陣を切ったトモキ

もどかしい。だが、そこが面白い。妙にハマる釣り人が多いのもうなずける。タイラバ。我われツリガチ取材班が東京湾のタイラバに挑んだのは、4月20日のことだった。
 朝から天気は悪かった。冷たい雨と風がこたえる。4月も終わりである。「もう防寒着はしまつてもいいだろう」と思いガチなタイミングだが、ツリガチ取材班をナメてもらっては困る。「なんでこんな日に……」と、三浦半島新安浦港・長谷川丸の岩瀬正紀船長。ヨッシーこと吉岡進さんも苦笑いである。
 だが、東京湾のタイラバは大きな潮回りほど有利とされる。

4月20日は、大潮後の中潮。吉と出るか、凶と出るかは、海のみぞ知る。我われとしては、ひたすらタイラバを巻くしかないのである。
 船長は、「前日もマダイは船中5枚上がったよ。うちキロアツプは2.9キロを頭に3枚。外道も色いろ釣れて、五目を達成したんだ」と、明るい情報を教えてくれた。
 ……と思ったら、「ただ、ちょっと掛かりが浅いんだよね……」と、遠い目をしている。
 落として巻くだけのタイラバは、動作としてはものすごくイージーな釣法だ。しかし、そこは魚相手。ひと筋縄ではいかな